２０２６年１０月２９日（木）

北海道科学大学にて特別講義を実施
～産学連携で鋼橋づくりの技術を紹介～

函館どつく株式会社は、2026 年 10 月 22 日（木）、北海道科学大学工学部都市環境学科の講義「橋梁工学」において、3 年生およそ 30 名を対象とした特別講義を実施しました。当社は 2023 年より同大学と産学連携を進めており、今回の講義もその一環として、同学科の今野教授のご協力のもとに実現したものです。

当社は船舶の建造・修繕を主力とする一方、明治期から橋梁製作を手がけ、白鳥大橋や下津井瀬戸大橋など数多くの橋梁を製作してきた実績があります。講義では当社鉄構機械部の三浦部長が講師を務め、世界初の鉄橋とされるイギリスのアイアンブリッジ（1779 年）に始まる鉄橋の歴史、鋳鉄橋と鋼橋の違い、橋梁に用いられる鋼材の種類と特性といった基礎から、鋼材が実際の橋としてかたちになるまでの設計・製作の現場まで、当社が培ってきた鋼橋づくりの技術を交えて紹介しました。

学生にとっては、教科書で学ぶ知識と実際のものづくりの現場とを結びつけ、橋梁技術への理解を深める機会となりました。

当社は今後も、教育機関との産学連携を通じて、地域の土木・造船技術の魅力を次世代へ伝えてまいります。

三浦部長による特別講義の様子